

2016年度 第4回 スポーツ・健康科学部教授会議事録要旨

日 時： 2016年 7月12日 (火) 午後 3時30分～午後 5時48分

場 所： 東松山校舎 管理棟3階 第1会議室

構成員： 36名 (定足数17名 ※参入しない者2名)

出席数： 33名 (定足数充足)

欠席者： 4名

議 長： スポーツ・健康科学部長

《報告事項》

1. 2017(平成29)年度 海外研究員、国内研究員、海外留学者、特別研究期間制度適用者の申請について

議長より、資料に基づき2017年度の海外研究員(長期・短期)、国内研究員、特別研究期間制度適用者がそれぞれ決定した旨の報告がなされた。

2. 学部長会議申合せ事項(特任教員の勤務について)の改正について

議長より、学部長会議申合せ事項のうちの「特任教員の勤務について」資料のとおり改正された旨の報告説明がなされた。

3. 大東文化大学学長選挙等管理委員会規程の改正について

議長より、資料に基づき、学長選挙等管理委員会規程の改正として同委員会委員の任期の終期を年度の区切りとするための附則を設けた旨の報告説明がなされた。

4. 2016(平成28)年度 前期定期試験実施本部長、担当責任者について

議長より、資料に基づき、前期定期試験(7/27～8/3)実施本部長【板橋】、担当責任者【東松山】について報告がなされた。

5. 2016(平成28)年度 研究倫理教育について

議長より、資料に基づき、学生も対象とした研究者への『研究倫理パンフレット』が作成され、研究活動の作法や研究活動の不正行為等についての注意喚起、指導を全学的に周知・徹底することについて報告がなされた。

6. 2017(平成29)年度 科学研究費補助金の応募申請について

議長より、資料に基づき、2017年度の科学研究費助成事業への申請方法と学内申請説明会、学内申請締切日について報告があり、構成員に対し積極的に補助金申請を行うよう促された。

7. 全学プロジェクト事業に係るAL研究会について

議長より、資料に基づき、全学プロジェクト事業との共催というかたちで、1. 「AL研究会・理論編(学習理論講座)」と、2. 「AL研究会・実践編(AL事例研究)」の計4回のプロジェクトを全学FD研究会と位置付け、専任の先生方に必ず1回は参加するよう要請されている旨の報告があり、本日後刻(教授会終了後)の国際関係学部との合同で実施予定の研究会に参加するよう要請があった。

8. 2017年度 全学プロジェクト予算(学長予算)にかかる基本方針の公表及び公募採択事業の募集について

議長より、資料に基づき、2016年度の全学プロジェクト予算に基づく事業の実施状況および2017年度の同予算の基本方針と事業テーマ【①ALの研究と教育事業、②高大接続改革に向けた取り組みの加速、③全学的共同研究の推進】、並びにその公募申請要項等について報告説明があった。

9. FD委員会からの報告について

議長より、資料に基づき、FD委員会からの要請事項について報告があった。

10. 東松山キャンパス運営委員会からの報告について

議長の指名により、東松山キャンパス運営委員会委員である健康科学科教授から資料に基づき、11号館の改修工事、朝ごはんプロジェクトの利用状況等についての報告がなされた。

11. キャリアセンターからの報告について

議長より、平成27年度の就職状況等に関する報告について、資料に基づき報告があった。

12. 学生支援センターからの報告について

- ・2016年度学科別退学・除籍者数(5/31現在)一覧
- ・学園規則の読み替え措置について【不正行為者の処分に関する事務手続きの矛盾】

議長より、上記2件の資料に基づき、それぞれ報告があった。

13. 国際交流センターからの報告について

議長より、資料に基づき、平成28年度後期(第5期)官民協働海外留学支援制度「トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム」採用結果及び平成29年度前期分の募集要項等について、それぞれ報告があった。

14. その他

- ・看護学科設置申請にかかる進捗報告について

議長より、看護学科設置に向けた進捗状況に関して報告がなされた。

- ・教員免許状更新講習会の実施について

スポーツ科学科教授・教職センター兼任教員より、次年度以降の東松山校舎での講習・講義内容の充実を更に図りたいと考えていることから、本学部からもう1つ2つ講座を増やしたいので、個人的に担当したい(できる)方は申し出ていただきたい旨の要請があった。

《報告承認事項》

1. 2017(平成29)年度 大学院担当教員資格審査(講義・演習科目担当教員)

結果報告について

議長の指名により、スポーツ・健康科学研究科委員長・健康科学科教授から去る6月開催の研究科委員会における決定事項である旨前置きの後、2017年度からの大学院講義・演習科目担当教員の新たな増員にかかる教員資格審査を行った結果について、資料に基づき説明があり、これが追認された。

2. 研究倫理審査委員会(迅速審査)の報告について

議長であり研究倫理審査委員会委員長である健康科学科教授より、資料に基づき、研究倫理の審査結果(迅速結果)【条件付承認→承認1件】についての報告があり、これが追認された。

3. 2017(平成29)年度 入学試験にかかる指定校の選定について<健康科学科>
議長の指名により、健康科学科主任教授から、2017年度の健康科学科における指定校の見直しを行った結果について、回収資料に基づき説明があり、これが承認された。
4. 2016(平成28)年度 私立大学等改革総合支援事業について
議長より、平成28年度「私立大学等改革総合支援事業」の概要と、過去の選定状況や他大学の選定状況等を踏まえた本学の現状について、それぞれ資料に基づき概略説明がなされた。その上で、本学部も「外部試験を用いて学習効果の向上延いては成績評価の指針にすべくこれを導入する」と表明したいとの提案がなされたが、最終的に、学部の見解として外部試験の導入等は時期尚早であるとの結論に至った。
5. 全学プロジェクト事業(学長提案事業)におけるリーダー育成プログラムへの学生の推薦について
議長より、両学科主任を中心に各学科での学生の推薦(選抜)方法等について協議のうえ、資料のとおりに参加学生を決定した旨の報告があり、これが承認された。
6. 2016(平成28)年度 野外系実習授業(前期)の実施について<継続>
議長より、本件については前回の教授会審議において「保留」とし、結果としては資料のとおり、これを学部長会議へ付議・了承を求めた旨の経過報告がなされ、原則として野外実習に参加する学生において、定期試験実施科目のうちで試験日と実習日が重なってしまった場合の対応としては、学年暦で定める追試験日に然るべき諸手続きを行うことにより追試験の受験をさせるなど、学生が不利益を被らないよう取り計らうことを前提として、当初の計画どおりの野外実習を実施することが認められたとの説明があった。このことを踏まえ審議の結果、これが承認された。
7. 2016(平成28)年度 健康運動指導士認定試験受験資格取得に伴う健康産業施設等現場実習の実施について
議長の指名により、スポーツ科学科主任教授から、資料に基づき、例年どおりの実習生の受入れについて実習施設より内諾を得られたこと、対象学生へのガイダンス等を今後行い、現場実習を予定通り実施することについて説明があり、これが承認された。
8. 2016(平成28)年度 環境科学D(環境測定分析現場実習)について
議長の指名により、健康科学科主任教授から、資料に基づき、環境測定分析現場実習に学生1名(引率教員3名)が、受入れ施設にて実習を行う旨の説明があり、これが承認された。
9. 学生の学会への参加について<健康科学科>
議長の指名により、健康科学科主任教授から、資料に基づき、第11回日本臨床検査学教育学会との同時開催となっている第32回世界医学検査学会のプログラムへの学生参加及び発表のために学生26名(引率教員2名)が出向くことになった旨の説明の後、指導教員である健康科学科准教授と教授から補足があり、これが承認された。
10. 2016(平成28)年度 QSTサマースクール夏期実習生の派遣について
議長の指名により、健康科学科主任教授から、資料に基づき、2年間継続して行われてきた夏季休暇中の国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構高崎量子応用研究所放射線生物応用研究部におけるQSTサマースクールの実習について、健康科学科生2名の実習受入れが決定し、いずれも2週間の実習に出向くこととなった旨の説明の後、指導教員である健康科学科准教授から実習内容等にかかる補足があり、これが承認された。

1 1. 教職課程センター主催シンポジウム開催に伴う登壇者推薦について

議長の指名により、スポーツ科学科主任教授から、資料に基づき、本年 11 月開催予定のセンター設立記念行事「教職課程センター KICK OFF シンポジウム」の実施プログラムにおける教員採用試験合格者リレートークに参加できる卒業生・在学 4 年生の推薦依頼に関しては、先刻の学科協議会においてスポーツ科学科教授に卒業生等の選抜、取りまとめ役をお願いし期限までに連絡できるよう取り計らいこととなった旨の報告説明があり、これが承認された。

1 2. 2016(平成 28)年度 文京区立窪町小学校の魚沼移動教室補助員の派遣及び

埼玉 ふじみ野市文化・スポーツに関するワークショップ 参加学生推薦の依頼について

議長の指名により、スポーツ科学科主任教授から、資料に基づき、いずれも事後報告となる旨前置きののち、それぞれ報告説明があり、これが追認された。

1 3. 2016(平成 28)年度 埼玉県立蕨高校の臨海学校水泳コーチ派遣依頼について

議長の指名により、スポーツ科学科主任教授から、資料に基づき、水泳コーチ（高校 1 年生の臨海学校水泳指導）としてスポーツ科学科生の派遣要請があり、実人数 6 名の学生の派遣を行いたい旨の説明があり、これが承認された。

1 4. その他

特になし

《議案》

1. 2017(平成 29)年度 教員採用人事に関する件について<人事選考委員会の設置>

・スポーツ科学科定員増に伴う専任(1)・非常勤教員(2)の採用に関する件

議長の指名により、スポーツ科学科主任教授から、①スポーツ科学科定員増に伴う大学設置基準による教員定数 1 名の増加に基づく新たな専任教員の採用と、②この定員増に伴う授業コマ数の増加に対応するべく非常勤講師の新たな配置（増員 2 名）が必至となることからその補充（採用）について資料のとおり提案があり、これが承認され、選考委員会の発足となった。

・退職〔選択定年〕に伴う専任(健 1)・非常勤教員(スポ 1)の採用に関する件

議長の指名により、健康科学科主任教授から、健康科学科教授の退職（選択定年）に伴う後任補充にかかる対応（初年次教育の充実）及び新たな専任教員の採用と、スポーツ科学科主任教授から、健康科学科における採用人事計画を尊重する一方で、同教授が主に担当していたスポーツ科学科関連科目（教職資格科目含む）を同様に担当できる新たな非常勤講師 1 名の補充（採用）について、それぞれ資料のとおり提案があり、これが承認され、選考委員会の発足となった。

・科目担当替えに伴う健康科学科非常勤講師の採用に関する件

議長の指名により、健康科学科主任教授から、健康科学科の次年度学科目編成方針及び教員人事計画に基づき、現在「化学」の授業を担当されている非常勤講師の科目担当替えによる退任に伴う新たな非常勤講師 1 名の補充（採用）について提案があり、これが承認され、選考委員会の発足となった。

・スポーツ科学科特任教員の採用に関する件

議長の指名により、スポーツ科学科主任教授から、スポーツ科学科特任教授の退職（任期満了）に伴う後任補充（採用）について提案があり、これが承認され、選考委員会の発足となった。

- ・任期満了に伴う健康科学科特任実習助手の採用に関する件
議長の名指により、健康科学科主任教授から、健康科学科特任実習助手の退職（任期満了）に伴う後任補充（採用）について提案があり、これが承認され、選考委員会の発足となった。
- ・72歳定年に伴う健康科学科非常勤講師の採用に関する件
議長の名指により、健康科学科主任教授から、健康科学科非常勤講師の定年退職に伴う後任補充（採用）について提案があり、これが承認され、選考委員会の発足となった。

2. 2016(平成28)年度 9月卒業判定の執行部一任について

議長より、回収資料に基づき説明がなされ、9月5日の卒業生発表日までに及落判定結果に基づく成績処理を行わなければならないことから、次回教授会は9月27日開催予定であり、その前に新たに教授会を開催することが出来ないことから、本件に関する一連の処理やその手続きについてすべて執行部一任願いたいとの提案があり、これが承認された。

3. 2017(平成29)年度 奨学金留学規程に基づく海外奨学金留学生の選考について<スポーツ科学科>

議長の名指により、スポーツ科学科主任教授から資料に基づき、同学科協議会における結論としては、先般、学科主任と学科主任代行、事務方にて選考にかかる提出書類の確認および面接を行った結果報告を踏まえ、スポーツ科学科2年生が奨学金留学生に決定したことの経過説明があり、審議の結果これが承認された。

4. 2016(平成28)年度 スポーツ奨学生の補充認定について

議長の名指により、スポーツ科学科主任教授から回収資料に基づき説明がなされ、補充候補者1名の認定が承認された。

5. 2016(平成28)年度 客員研究員の申請について<スポーツ科学科>

議長より、回収資料に基づき客員研究員の受入について、スポーツ科学科教授から新規1件の申請があったことの報告があり、審議の結果これが承認された。

6. 2年連続して受講者数が10名未満の科目について

議長の名指により、スポーツ科学科主任教授および健康科学科主任教授から資料に基づき両学科の科目の特性等の説明がなされ、いずれも10名未満であっても各科目の継続開講（現状維持）願いたい旨の表明があり、これが了承された。

議長は、これをもって学部長会議へ上程し学長へ報告する旨であった。

7. 鳩山町健康づくりトレーニング事業協定書の締結について

議長の名指により、スポーツ科学科教授からスポーツ科学科の地域連携事業の一環として本年度も継続して本トレーニング事業をしたい旨、資料のと通りの協定書の締結（更新手続き／毎年1回）を行いたいとの説明がなされ、これが承認された。

8. 大東文化大学 研究倫理指針の改正（案）について

9. 大東文化大学 研究倫理委員会規程の改正（案）について

10. 大東文化大学 利益相反ポリシーの制定（案）について

11. 大東文化大学 利益相反委員会規程の制定（案）について

議長より、上記の議案8、9、10、11.をまとめて審議することの提案があり、これが了承されて後、資料9に提示されているコンプライアンス体系(図)に沿って概括説明があり、審議の結果、一括してすべて承認された。

- 1 2. 大東文化大学 私費外国人留学生予約型奨学金給付規程の制定（案）について
- 1 3. 大東文化大学 私費外国人留学生学業成績優秀者表彰規程の制定（案）について
議長より、上記の議案 12.、13. をまとめて審議することの提案があり、これが了承された後、資料 13 に提示された制度改正シミュレーション図表に沿って、今般の全学的な奨学金制度改革の一端から、外国人留学生に対する奨学金新制度の導入・実施に向けた規則の制定について概括説明があり、審議の結果、一括してすべて承認された。
- 1 4. 大東文化大学 教育ローン利子補給金給付規程の改正（案）について
議長より、資料に基づき説明があり、審議の結果これが承認された。
- 1 5. 大東文化大学 教員の兼業に関する規程（案）制定に伴う 大東文化大学 助教規程、大東文化大学 研究補助員規程、大東文化大学 スポーツ・健康科学部特任実習助手の任用に関する規程の改正（案）について
議長より、資料に基づき説明があり、審議の結果これが承認された。
- 1 6. 科学研究費補助金による出張申請について
議長より、健康科学科特任教授が、①学会参加のため東京都内に、②学会発表のため高知県に、それぞれ出張する旨説明があり、これが承認された。
- 1 7. 兼職について
議長より、回覧資料に基づき説明があり、以下のとおり承認された。
- 1 8. 学籍異動について
議長の指名により、スポーツ科学科主任教授から、回覧資料に基づき説明があり、下記のとおり承認された。
- 1 9. 学生の派遣について
議長より、回覧資料に基づきそれぞれ説明があり、承認された。
- 2 0. その他
＜追加案件＞海外渡航について
健康科学科教授および健康科学科教授が、中国・上海交通大学にて行われる学会発表のための海外渡航届に基づき説明があり、本海外出張について承認された。

以 上